

すそみろく

VOL.31 2014 秋冬号

秋から冬のお山のふもと、
里のめぐみを分ち合う、
ふっくら、とっぷり、ぬくぬく...



てまひまかけて、しめ縄づくり。

紹介した〜い 筑波山麓の美味しいもの

のんびり歩こう 筑波山麓秋祭り 田井の里 お散歩マップ

昔話みたいな風景〜

体験しよう！
味わおう！



HPはコチラ <http://tsukuba-gt.sakura.ne.jp/>

Facebook ページもチェックしてね。

イベントレポート へ7月16日開催

「畑でイタリアン！」

夏野菜の収穫と
おいしいランチ



フレッシュバジル、いいにおい〜！

細い道をくねくねと辿り着いた、筑波山麓神郡のツクバハーベストガーデン。シェフ佐藤さんの指導の下、収穫したジャガイモやバジルでソースやトルフイ作りをしているうちに、参加者全員和気あいあいと和やかな雰囲気…。ジャガイモの収穫は初めてでしたが、お土産の神郡のキタアカリは甘くて家族も大絶賛！持ち帰ったバジルの残りは庭に挿し木し、今も我が家のイタリア料理の脇役として活躍しています。
(土浦市 高橋仁美)

歳時記レポート へ7月19日開催

「白井のおかがり」

7月19日の晩に白井地区の八坂神社にて、今年も祇園祭前夜の神事「おかがり」が執り行われました。あいにくの大雨の中、地区住民の方達が境内に集まりました。闇の中にお焚き上げされるご神木がそびえ立ちます。伐り出されたばかりの松の胴回りに大量の麦わらをくくりつけた、10層超の巨大な円錐型の塔です。打ち鳴らされる太鼓の音の中、ご神木に火が放たれると一気に大きな炎となり燃え上がりました。老若男女が興奮した面持ちで炎を見つめます。雨合羽を着た子供たちが次々に爆竹を炎に放り込みます。疫病退散を念じて人々の心が合わさったひと時でした。
(横井久美)



天へと立ち上る炎の中の御神木

神郡塾 毎月第2日曜日、午前9時〜12時10分、つくば市白井(六所)古民家「美六山荘」にて開催
(結エディット 野末たく二)

秋から冬への歳時記



蚕影神社例祭

10月23日(木) 午前11時より神事
「日本一社」として養蚕信仰を集めてきた神社。春の蚕糸祭で祈願し、秋の例祭で蚕糸を奉納。昭和15年の絵馬殿建立の寄付者の碑を読むと、遠くは岩手県から長野、群馬、山梨など関東信越の養蚕産地の名が見える。
筑波山神社御座替祭
11月1日(土)

筑波山神社の大きかりで、由緒ある祭礼。山頂の男体、女体を経巡ってきた神輿が六町目の鳥居から神社拝殿へと向かうつくば道の神輿渡御は、時代絵巻さながら。祭が済めば、山麓に冬が来るのも間近。

飯名神社初巳祭

平成27年2月22日(日)〜日暮れ
山麓で巨石をご神体とする神社のひとつ。常陸国風土記に筑波岳(つくばやま)におられる「飯名の神」と記されている。地元からは「いなひの弁天さん」と呼ばれ、立春過ぎの初巳の日の例祭は、参道で苗、鎌、鍬などの農具、海産物を商い、境内にだるま市が立ち、賑わう。
(結エディット 野末たく二)

◆あとがき

カラーになって2号めの「すそみろく」です。今回もカラー8ページで作りました。さて、秋は収穫の季節。すそみの景色も秋いっぱいになります。秋の日々、地域で取れた、お米や野菜、果物などをほお張って、わら細工をしたり、わたしを作ったり、人間の生活って、こんなに幸福なのかと思える一瞬を大事にしていきたいです。

筑波山麓は古来より他から来た、多くの人々を受け入れてきました。地域に住む人々、訪れる人々、その交流を通じて、すそみの里が、豊かな収穫を迎えるのだと思います。

筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会会長 櫻井登



すそみろくサポーター

縁結び・七五三・初詣

つくば市筑波 筑波山神社
新米できたよ！ 農業生産法人 筑波農場
「常陸小田米」 小久保貴史

香ばしい「玄米もち」腹持ち良し
つくば市小田 武平ファーム
子供たちに伝えたい 筑波山麓の自然、歴史
つくば市小沢 杉田慶也

※ 協賛会員「すそみサポーター」募集中！
一口3000円から 詳しくはお問合せ下さい

体験、ライブも
"つくばねファーム"

つくばねファームは筑波山地域のイチゴ農家だ。イチゴ生産の他にもイチゴジャム、イチゴかき氷の販売。またイチゴ狩りなど体験型のイベントなどイチゴを中心に幅広く展開している。ハウス栽培で行い、9月は作付けの時期で大忙し。代表の小辻孝輔さんは、育てる楽しみも伝えたいと、参加者自ら作付けし、名札をつけるイベント「いちごうえ！」を開催する。その約2カ月後には収穫期を迎え収穫体験も行える。また、イベントと合わせて農園内で定期的に音楽ライブをはじめ様々な催しを開催。単に農業体験をするだけではないコミュニケーションの場として農園を活用している。若い感性で農業だけにとどまらない小辻さんの活躍が期待される。(安藤慧)



○つくばねファーム
つくば市和台原 1494-24
Tel: 029-869-0069
Mobile: 090-8620-8618
・ご来場の際はお車が便利です
つくばウェルネスパーク近く
Email: tsukubanefarm@gmail.com

"武井さんちのお米" できました。

筑波山麓に広がる田園地帯のお米は知る人ぞ知る美味しいお米。その昔、献上米として皇室が召しあがったこともある。武井さんちで作るコメがまた旨い、何がいいのか明さんの腕がいいのか、土地がいいのか、他人には知らせていない秘伝の何かがあるのか、旨い、今のはやり言葉ハイブリッド(複合)なのか。おすすめは、お米の美味しさを味わえるおにぎりが最高に旨い、他のどんな素晴らしい料理にもひけをとらないと思っている。(堀口義昭)

○連絡先 029-867-0589 (武井)



この道60年の武井明さん

会員募集

筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会

筑波山麓の魅力を発掘して提供する「筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会」では一緒に活動して下さる会員を募集しています。ここには美しい里山の景色と地域で連綿と受け継がれてきた伝統的な文化が今なお残っています。当協議会のイベントへのご参加や応援を通じて、その魅力を共有し受け継いでいくために活動をしています。会員になっていっしょに活動しませんか?

○個人会員3千円、団体会員5千円、賛助会員一口千円(何口でも) ※会員を希望される方はお問い合わせください

問い合わせ/申し込み先

筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会 Tel/Fax 029-867-1083

紹介した~い
筑波山麓の
おいしいもの

香りひろがる

ふくみとうがらし
"福来味唐辛子"



11月になると山麓では小さなみかん「福来みかん」が実りはじめます。白井にある筑波福来みかん園にもかわいらしい実りがいっぱい。当主の鮎川和行さんが丁寧に育てた福来みかんをふんだんに使って福来味唐辛子を作っています。唐辛子やごまも自家製で福来みかんの香りひろがる絶品! 北条にあるカフェポستنではすてきな小包になって販売されております。是非一度ご賞味ください! (北野祐子)

○価格 25g 324円、40g 540円

○カフェポستن つくば市北条 183

11:00 ~ 18:00時 営業(火曜日定休)

正月飾りの定番のしめ縄をわらからつくってみようとはじまった「しめ縄田んぼ」では一足先に稲刈りを行いました。稲刈りという夏と夏の終わりの9月上旬というイメージがありますが、しめ縄用の稲は穂が出る前に刈り取ります。8月の山麓の田は、青々とした稲が夏風にゆられ、清涼な湧き水が注ぎこんでいます。文面にするととても涼しげですが、実際にこの時期に手刈りとなると暑さも相まってなかなか大変。ですがこの時期に刈り取らないと良質な青いわらがないのでがんばりどころです。刈り取ったわらは120%と通常のわらよりかなり長いです。わらは刈りとおしまいでなく、青い色を残しつつもパリッと乾燥させなければなりません。夜露や雨に晒してしまうと変色など質が低下してしまいうので大切な作業です。天気がよい日、洗濯物のように朝の内に干し、夕方前には取り込みます。強い日差しで

一気に乾燥させてしまうのが一番ですが、厳しい暑さは人間には堪えませんが、暑さにも負けず束ねては広げ、広げては束ねと繰り返すこと3日間。無事に立派なわらができあがりしました。この青いわらはしなやかで、扱いやすいためキメが細かく装飾的にもきれいなしめ縄となります。白井地区のお祭りでは、このように手間をかけたわらで、伝統的なしめ縄づくりが行われています。今年も12月上旬にしめ縄づくりのイベントを開催します。神棚のある家にはごぼう締めが一般的です。また、最近では玄間に飾れる輪飾りも人気です。筑波山麓の素材でできたしめ縄。地域の伝統に触れながら正月準備をしませんか?

イベント「しめ縄をつくらう!」

・12月13日(土) 10時~13時

・参加費3千円

(完成したしめ縄と昼食付です)

問い合わせ/申し込み先

筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会 Tel/Fax 029-867-1083

筑波山麓わらの会の

てまひまかけて、
しめ縄づくり。



暑い中、みんなで刈り取った~!



お山に見守られての乾燥作業



松葉、稲穂、みかんも飾らう